



- 部 長 議長のみの出席でお願いします。
- 副市長 例年、同時期に古民家園で事業を行っていたと思いますが、今回は実施しないのですか。
- 部 長 1月7日に七草がゆ、1月21日には餅つきを実施予定です。
- 市 長 続いて、報告事項2「野川サイクリング道路のアスファルト舗装損傷の原因調査について（要請）」を報告してください。
- 部 長 本件は、東京外かく環状道路（関越～東名）の工事事業者が市に無断で応急復旧し、報告もなかったことに対して、10月13日付けで「市が舗装損傷の発生原因調査を行う場合には、調査に協力すること」と要請したことに基づき、11月30日付けで具体的な要請を行ったものです。要請内容は、2点あり、1点目は「野川サイクリング道路における谷戸橋～小足立橋区間の路面下の空洞調査及び事業者が応急復旧した箇所での路面の開削・復旧に協力すること」、2点目は「令和5年8月～10月に発生した野川サイクリング道路の舗装損傷について、東京外かく環状道路（関越～東名）の工事による影響を明らかにすること」です。当日は、市長から国土交通省関東地方整備局東京外かく環状国道事務所長他2者に対して、要請書を手交するとともに、調査への協力を要請し、外かく環状国道事務所長からは、「真摯に対応していく」というコメントがありました。また、10月13日付けで要請した「市との連絡体制を強化し、市域の道路、野川サイクリング道路等で損傷等を発見した際には、迅速に管理者へ連絡すること」に対して、連絡体制の徹底について11月30日に説明を受けました。庁議メンバーには、同30日に情報共有を行い、その後、狛江市議会議員にも情報提供を行いました。これを受け12月1日に、両NEXCOから「野川サイクリング道路における舗装損傷の発生原因調査の協力について」及び「野川サイクリング道路の舗装の損傷の応急復旧対応を踏まえた連絡体制の徹底について」の公表がありました。2、3ページ目はNEXCOの公表資料となっています。2ページ目を御覧ください。今回の要請を受けて、路面の開削・復旧作業及び周辺部（谷戸橋～小足立橋）の路面下の空洞調査に協力すること、野川サイクリング道路の舗装損傷について、東京外かく環状道路（関越～東名）の工事による影響の更なる確認を行うことを検討していく、となっています。今後の日程については、準備が整い次第調査を実施し、詳細な日程決定後、改めて周辺住民の方への周知を行うこととなっています。3ページ目を御覧ください。今回の件を踏まえ連絡体制を見える化し、管理者である市への連絡を徹底することが示された資料です。
- 市 長 続いて、報告事項3「（仮称）駒井公園の社会実験イベント結果及び第3回ワークショップの開催について」を報告してください。

部 長 (仮称) 駒井公園の整備検討の一環として、11月23日に公園整備予定地の一部で、イベントの開催や遊具の設置等について今後の可能性を検証するため、社会実験を行いました。イベントは、キッチンカーの出店、狛江ブランド農産物の販売、遊び体験、狛江市公園フォーラムの4つを開催し、413人の方に来場いただきました。2ページが、来場者に実施したアンケートです。続いて3ページを御覧下さい。アンケートは206人の方に回答いただき、イベントへの来場目的に関する質問では、「遊び体験」が66票で1番多く、実際に体験して一番よかったものについても「遊び体験」が74票で1番多い回答でした。また、公園に必要と思うものに関する質問では、「ボール遊びが出来る空間」が100票で1番多く、公園の管理で協力できるものに関する質問では、「除草・清掃」が87票で1番多い回答でした。今回の社会実験には413人の方に参加いただいたため、イベントが開催できる公園かについてはニーズがあることが確認できました。また公園の管理面についても、協力いただけるアンケート回答も一定程度あったことから、今後、委託事業者から提出される実施結果や考察等も踏まえ、引き続き、整備案や管理方法等について検討を進めていきます。最後に4ページを御覧下さい。次回が最後のワークショップとなりますが、12月16日に南部地域センターで開催します。その後、年明けには公園整備基本計画を策定し、年度末に共有報告会にて公表する予定です。

市 長 フォーラム単体ではなく、他のイベントと同時開催とすることで多くの参加者が集まりました。市民参加の手続きを行う際の成功事例であるため、各課も参考にしてください。

その他ありますか。

部 長 総務大臣表彰の受賞についてです。11月30日に、狛江市町会・自治会連合会会長の佐藤英一さんが自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰を受賞されました。これは、佐藤さんが地縁による団体の代表者として多年に渡り在職し、地域での活動を通じて、良好な地域社会の維持や形成に顕著な功績があったと評価されたものです。表彰式は11月30日に行われ、同日、受賞報告のため市長に表敬訪問されました。佐藤さんは駒井町会会長を16年間務められ、地域の課題解決のため、狛江市町会・自治会連合会の設立を主導されました。また、在住する学区にて市内で初めての避難所運営協議会の設立に尽力される等、長年に渡り、地域で貢献されています。

市 長 他にありますか。

部 長 第22回多摩川流域郷土芸能フェスティバル及び第7回多摩川流域物産展の実施結果についてです。両イベントは12月3日に開催されました。まず、郷土芸能フェスティバルはエコルマホールにて実施し、9自治体に出演いた

だき、多摩川流域自治体の郷土芸能を広める貴重なイベントを市民の皆様にご覧いただき、関係者を含め631人でした。次に物産展は、えきまえ広場にて実施し、8自治体に参加いただき、狛江からは例年通り、狛江GAP研究会に狛江ブランド農産物の直売を行っていただきました。物産展への来場者は約1,000人でした。両イベントとも苦情やトラブル、事故等もなく無事に終了することができました。

市長 郷土芸能フェスティバルが開催された同日に、狛江第二中学校地区ではスポーツフェスティバルが開催され、多くの参加がありました。地域の方が中心となりイベントを開催することは、市民協働の視点からも素晴らしいと思います。

また、(仮称)駒井公園の議題がありましたが、そのように新たな施設を整備するに当たっては、可能な限り国庫補助金を活用してください。防災分野と関連付けて国土強靱化の補助金、環境分野と関連付けて環境省の補助金を活用する等、その施設の目的に何かを加えることで、事業費は増えたとしても、それ以上に補助が受けられる場合もあるため、積極的に検討してください。

他になければ、以上で本日の庁議を終了します。次回の庁議は、12月12日午前9時00分から開催します。